

氷や雪からエアコン室外機を守る！

アイスノー・ガード®



近年、エアコンの性能向上により、冬季にエアコンの暖房機能を使用する人が増えてきました。

しかしその一方、室外機の凍結や積雪による通気性の悪化などで、室外機の熱交換機能が十分に発揮できない場合があります。また、屋根からの雪やツララの落下で室外機が破損する恐れもあり、それを避けるために設置場所が限定されることがあります。

これらの課題に対応するため、弊社ではエアコン室外機を冬の厳しい環境から守る「アイスノー・ガード」を開発しました。

特
徴

- ★軽量で衝撃に強いFRP製フードおよびカバーを採用！
- ★落雪、落氷、雪庇、風雪から室外機をガード！
- ★室外機の設置場所（東西南北）を自由に選べる！
- ★建物にマッチする色とデザイン！
- ★エアコンの能力を落とさない工夫（ショートサーキット防止）！
- ★夏の強い日差しからも室外機をガード！

Point! フードは丈夫なFRP製

◎落下実験① 5kgの鉄球を4mの高さから落としても一瞬たわむだけ。



◎落下実験② 20kgの土嚢を4.5mの高さから落としても一瞬へこむだけ。



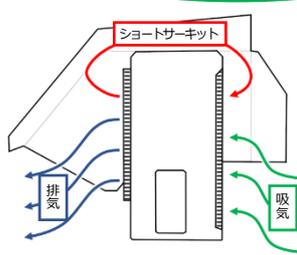
◎荷重実験 80kgの重しをのせても5mmたわむだけ。重しを外すと元に戻る。



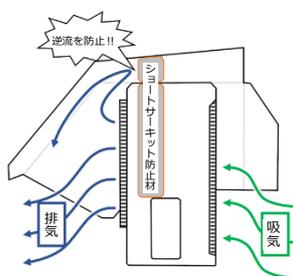
金属製フードと比べて弾性に優れています！

※落下試験はあくまで社内試験によるもので、落下物の重量、大きさ、衝突の仕方、衝突箇所によっては破損する恐れがあります。

Point! ショートサーキット防止構造



通常、大きなフードを被せるとフードに当たった排気がフード内を逆流し、吸気に混入する「ショートサーキット」と呼ばれる現象が起き、熱交換効率が著しく落ちてしまいます。



アイスノー・ガードはフード内部にショートサーキット防止材を取り付けることにより、排気の逆流を防ぐ構造になっています。



赤い破線で囲まれた部分が防止材です。天井および側面に取り付けられています。

Point!

暖房運転の安定化

アイスノー・ガードは雪の多い時こそエアコンの機能維持に役立ちます!

降雪時には、室外機の熱交換器に多くの雪が付着する場合があります。この時、エアコンでは除霜機能が働きますが、その間室内暖房機能が低下します。アイスノー・ガードを取り付けた実験では、フードの有無によって「除霜回数」と「運転率（エアコンが通常の空調をしている時間の比率）」に改善効果が確認出来ました。

対象	フードあり	フードなし
雪付着	なし	4割程度を覆っている
室外熱交写真		
除霜回数	21回	28回
運転率	78%	66%

※ 24時間測定での比較。数値は実験日（2021年12月18日）での実測値。

試験場所：北海道科学大学（札幌市手稲区） 試験機：大手空調機メーカー製寒冷地エアコン

アイスノーガード仕様

外観				
品名	標準タイプ	ワイドタイプ	標準タイプ 架台セット	ワイドタイプ 架台セット
型番	MAG-01-N	MAG-01-W	MAG-01-NK	MAG-01-WK
外形寸法(mm)	幅920 奥行860 高さ1100	幅990 奥行860 高さ1100	幅920 奥行860 高さ1720~2080	幅990 奥行860 高さ1560~1920
重量(kg)	17	18	29	29
カラー	アイボリー			
対応室外機寸法(mm)	幅800 奥行350 高さ450~810	幅865 奥行350 高さ450~810	幅800 奥行350 高さ450~810	幅865 奥行350 高さ450~810
構成	防雪フード、側面カバー（左右）、背面カバー フード取付用板金部品、ショートサーキット防止材 ボルト・ナット類		防雪フード、側面カバー（左右）、背面カバー フード取付用板金部品、ショートサーキット防止材 架台板金部品、防振ゴム一式、ボルト・ナット類	
材質	防雪フード・側面カバー・背面カバー：ガラス繊維強化プラスチック（GFRP） 各板金部品：亜鉛メッキ鋼板 塗装仕上げ ショートサーキット防止材：ポリエチレンフォーム			
価格	オープン価格			

ご注意

- ・エアコン室外機との取付調整が必要になります。
- ・設置はできるだけ平坦な場所で、窪みが無い場所に設置してください。
- ・安全のため、架台は家屋壁および地面に固定してください。
- ・より耐震性を求められる場合は、市販の転倒防止金具などを併用してください。
- ・金属部分は錆びにくい素材を使用しておりますが、潮風や融雪剤などで腐食する場合があります。
- ・フード上部は若干の傾斜があります。落下の危険がありますので、上に物を置かないでください。

